

緑の宝



2006
夏号
No.39



協会設立40周年記念「2006 緑・花ふれあい写真コンテスト」最優秀賞 「春光」藤ノ木 留春(静岡市)

目 次

会長あいさつ	P2
(社)静岡県造園緑化協会設立40周年記念式典	P3~4
協会のあゆみ	P5
(社)静岡県造園緑化協会設立40周年記念 2006 緑・花ふれあい写真コンテスト	P6~7
第二十七回通常総会開催	P8~9
緑・花文化の知識認定試験	P9
浜名湖フラワーフェスタ2006	P10
委員会だより(技術委員会) 第一回 空港の森ルネッサンス作戦で活躍	P11
支部だより(西部支部) 春の森づくり県民大作戦	P11
静岡県環境森林部 自然とふれあう活動の紹介	P12
静岡県都市住宅部公園緑地室 開園1周年を迎えた浜名湖ガーデンパーク	P13
静岡県農業水産部みかん振興室 伊豆・修善寺 花かざりまつり ハングギングバスケットコンテスト参加者募集 「花咲くしづおか」花いっぱいコンクール 参加募集中	P13
技術だより 第23回 全国都市緑化フェア(花影祭おおさか2006) 視察研修会に参加して	P14
協会日誌	P15
話題の森	P16

会長挨拶



(社) 静岡県造園緑化協会会長

乗松 文男

当協会も本年は設立四十周年という大きな節目の年を迎え、大勢の方々のご臨席を賜り盛大裡に記念式典を開催出来ました事を先ずもって厚く御礼申し上げます。

私どもの協会は昭和四十一年四月に任意団体の静岡県造園業協会として発足し、昭和五十七年三月に社団法人静岡県造園緑化協会と公益法人に改組致しまして現在に至っております。発足以来四十年の歴史を刻む事が出来ましたのも一重に先人達の大変なご苦労の積み重ねがあつてのものと改めて深く感謝申し上げます。

設立以来、私共は設立の目的であります緑豊かな住みよい県土づくりに貢献すべく時代の変化に対応した造園技術の向上に励み、公益法人として環境緑化の推進に努めて参りました。特に二〇〇四年に本県で開催されました「静岡国際園芸博覧会・浜名湖花博」では、協会発足以来の大イベントとして協会挙げて参画協力して参り、「浜名湖花博」大成功の一翼を

担う事が出来たのではないかと自負しているものであります。
さて、昨今は私共造園業界のみならず、広く建設業全体を取り巻く環境は大きく様変りし、大変に厳しい状況下におかれています。世界的な問題としての地球の温暖化、大気汚染等環境に携わる我々の役割は絶対に欠かす事の出来ないものであり、又その緑化の重要性が叫ばれている間にあつても大幅な公共工事の減少やそれに伴う不当な低価格競争等協会運営も大きな支障をきたしております。又、平成十七年に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」いわゆる品確法が施行され、価格以外の多様な要素が考慮されて一番に求められているものは技術と経営に優れた企業であります。

我々は緑化に関わる県下で唯一の公益法人としての自覚と責任を持つて時代に即応した一層の技術の研鑽向上に励み、此の難局を乗り越えて行かねばならないと思います。

四十周年を契機に過去にとらわれる事なく環境緑化と地域社会に貢献出来る緑の扱い手として、多様化する時代のニーズに応じた意識の向上を図り、次なる新しい目標に向かって結束を固めて前進して参らなければならぬと思う次第であります。

四十年の長きに亘り多大な御支援、御協力を賜りました皆様方に心から感謝申し上げると共に今後も尚一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう心より御願い申し上げる次第であります。●

(社)静岡県造園緑化協会 設立四十周年記念式典

（永年の歴史を祝し限りない発展を祈念）

平成十八年は協会が昭和四十一年四月に任意団体「静岡県造園業協会」を組織してから丁度四十周年の年となった。不惑の年である。記念式典は平成十八年四月二十七日第二十七回通常総会が終了した後、午前十一時三十分から同会場で盛大に執り行われた。

記念式典は元NHKのアナウンサーを務めた栗田暁さんによる通話



挨拶に立つ栗松会長



祝辞を述べる鈴木雅近静岡県副知事



協会に期待をかける小野寺試一静岡国道事務所長



表彰状と記念品をお贈りした。
会員六社に対し栗松会長から



助言の言葉を述べる中澤通訓議長

授与を行った。

当協会を設立して四十一年、船出した協会の航海にあたり、幾多の課題を克服する大事な舵を握り返り、昨今の経営過去を振り返り、「昨今の経営環境は大変厳しい状況にあるが、この難局を乗り切るには過去にどうられることがなく結束を固め、緑化推進の扭い手として新しい目標に向かって邁進していくしかなければならない」と新たな出発を誓った。次に、感謝状

栗松会長から「献木目録」を受ける鈴木雅近副知事の写真

次に、「写真コンテスト入賞者」の表彰に移った。写真コンテストは四十周年を記念して当協会が主催し、一般公募で行ったものである。大変好評で予想を超えた三・六点の応募があった。表彰の詳細は別掲に譲るとして、十八点の作品を入賞とし、式典ではこの内の最優秀賞一

（株）理研クリーン
(株) 西野造園
加藤造園 (株)
天龍造園建設 (株)
(株) 江間種苗園

会長特別表彰

第二代会長 稲勝哲夫氏
第三代会長 西野勢作氏

会長感謝状

設が急ピッチで進められている。

当協会は四〇周年の節目を記念して、後世に残る事業をと考

こととした。国内外から来静するお客様を心からおもてなしで

きる。静岡県の空の玄関口とな

る「富士山静岡空港」の建設地

にシンボルとなる「樹」を贈ろう

というものである。式典も進み、

来賓祝辞を頂いた。御来賓の

方々のうち鈴木雅近静岡県副知

事から「県民くらし満足度日本

一、自然環境日本一」を標榜し、

静岡の美しさを「守る・育て

・創る」の視点に立ち、関係諸

団体や造園緑化協会との連携

を強め、花と緑の景観づくりの



乗松会長から感謝状を受ける西野勢作第三代会長の辞を述べ、式典を閉じた。

い」と今後の協会に期待した。

滞りなく式次第が進み、橋井淳

副会長が感謝の意を以つて閉会

の辞を述べ、式典を閉じた。



平岡建通新聞社静岡支社長から表彰される藤ノ木留春氏



会長特別表彰を受ける会員各氏



写真コンテスト入賞者各氏



府川環境森林部長の乾杯の辞で祝賀会始まる

祝賀会

おなじみ江戸家小猫さんの鳥・虫のものまねで盛り上がる

式典終了のあと、しばらくの

休憩時間をとった後、五階のロ

ーズに会場を移し、総勢一五一名

の大祝賀会が府川博明環境森林

部長の乾杯の発声でスタートし

た。ひと時の時間を会員同士、

来賓との懇談で過ごした。その

後、本日の特別ゲストが登場。

さらに、国土交通省の小野寺誠

一静岡国道路務所長からは植

樹緑化は美しい国づくりの中で

重要な位置づけであり、地域住

民との連携が大事であると考

えている。教会は美しい国づくり

り、地域づくりをめざし様々な

活動を推進し、行政に対しても積

極的な提案をしていただき

た。

造園緑化協会の祝賀会に緑のジ

ャケフットに白のズボンという観

客に本目細やかな配慮をして、

颯爽と登場した江戸家小猫さん

は軽妙なトークと絶妙な小鳥の

鳴き声で満場の客席をうならせ

た。お得意のウギイスから始ま

つて、コオロギ、ズズムシと続く

と会場から自然と

拍手が沸く。自然

をこよなく愛す会

員は自らの自然

体験と奏でる鳥、

虫の鳴き声をダブ

らせ、感涙に耽る

ひと時もあった。

予定の時間とやや

超過するサービス

であつた。最後

に、片桐利男副会

長の中締めの発声

で記念すべき祝賀

協会のあゆみ

年 度	主な出来事
昭和41年度	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和41年4月静岡県造園業協会発足
46年度	<ul style="list-style-type: none"> ・造園特集号発行
48年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回住宅展初参加(沼津市)
49年度	<ul style="list-style-type: none"> ・49年10月建設祭参加(静岡市松坂屋)
50年度	<ul style="list-style-type: none"> ・法人化についての要望
51年度	<ul style="list-style-type: none"> ・51年6月技術研修(海外視察)カナダ・米国西海岸
52年度	<ul style="list-style-type: none"> ・52年1月技術研修(海外視察)台湾
54年度	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県グリーンパンクの緑化推進調査に取組む
55年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公共緑化施設視察研修会(筑波研究学園都市) ・公共緑化施設視察研修会(神戸市須磨離宮公園ほか) ・7月技術研修(海外視察)シンガポール、マレーシア
56年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(社)静岡県造園緑化協会設立
57年度	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成(生垣作り)2000部
59年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回都市緑化フェア参加、緑化相談所開設(静岡市青葉公園) ・「街の樹200選」創刊
60年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国際森林年グリーンフェア参加、緑化相談所開設(静岡市駿府公園)
61年度	<ul style="list-style-type: none"> ・創立20周年記念式典
62年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県下コミュニティ緑化指導開始(延べ12日間) ・「街の樹200選 生垣編」創刊
平成 1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しむみどりの日の集いほか5箇所で緑化相談所開設
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県グリーンパンク寄託木の移植工事の受託実施 ・一日奉仕活動(東部50名・中部48名・西部36名)
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・海外視察研修会(オランダ花博フロリアード)
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会報「緑の宝」創刊
6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・海外視察研修会(中国昆明ガーデンエキスポ93) ・緑地維持管理コンクールの実施(知事賞、会長賞)
8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・協会設立30周年記念式典
9年度	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡空港整備計画推進事業緑化モデル受託(種子採取ほか)
10年度	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡空港自然環境保全対策業務受託(種子採取、貴重種移植等) ・シニアワークプログラム事業技能講習受託
11年度	<ul style="list-style-type: none"> ・日本庭園石組研修会開催「日本庭園の石組」(静岡市駿府公園)
12年度	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路花博ジャパンフローラ2000視察研修会
13年度	<ul style="list-style-type: none"> ・2001年しづおか緑・花・祭へ出展参加
15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ国際モザイカルチャー出展製作へスタッフ派遣 ・NEW!!わかふじ団体・わかふじ大会へモザイカルチャー寄贈
16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・浜名湖花博屋外庭園出展「水車小屋のある庭」 ・浜名湖花博屋内庭園出展 <ul style="list-style-type: none"> 東部・中部支部「野の花の景」…特別賞・知事賞 西部支部「清涼の庭」…優秀賞
17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・浜名湖花博緑化相談所の開設 会員:延べ364名 ・しづおか環境森林フェアで庭園出展・緑化相談・花の種配布(技士会と共に)

二〇〇六 緑・花ふれあい写真コンテスト



審査風景

設立四〇周年記念事業として、みどりと花のある暮らしを啓発するために一般公募の写真コンテストを実施し、最優秀賞（県知事賞）に藤ノ木留春氏の「春光」のほか、特選二点、準特選五点、入選一〇点を選出した。テーマは県内の公園、街路樹、森林などの緑や花に関する作品で、「緑や花と人とのふれあい」、「街路樹のある都市景観」等、緑や花の大切さ、必要性の啓発に役立つ内容を題材としたものとした。



浜名湖フラワーフェスタで紹介

応募期間が二ヶ月弱だったにもかかわらず、三二六点の応募作品が集まつた。四月六日開催

応募期間が二ヶ月弱だったにもかかわらず、三二六点の応募作品が集まつた。四月六日開催



特選 「過ぎ行く春」 松崎 盛樹(静岡市)



準特選 「爽涼」 鈴木 美喜男(伊豆市)



特選 「桜色に染まった公園」 漆畠 淑男(静岡市)



準特選 「水ぬるむ頃」 内山 出茂(浜松市)



準特選 「春の山里」 望月 正晴(静岡市)



準特選 「なんじやもんじや」 小林 静男(静岡市)



準特選 「新緑の公園を散歩」 小山 勝二(浜松市)

入賞作品は次のとおり。

最優秀賞(県知事賞)(建通新聞社賞)

「春光」

藤ノ木 留春(静岡市)

特選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「過ぎ行く春」

鈴木 盛樹(静岡市)

準特選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「桜色に染まつた公園」

漆畠 浩男(静岡市)

特選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「爽涼」

望月 正晴(伊豆市)

準特選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「春の山里」

内山 出茂(浜松市)

準特選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「木ぬるむ頃」

小山 勝二(浜松市)

準特選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「新緑の公園を散歩」

小林 静男(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「初夏の景色」

大石 金作(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「五月晴れ」

秋山 勝男(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「公園の風景」

宮城島 泉彦(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「秋桜とのふれあい」

望月 政子(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「秋晴れ」

飯田 忠雄(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「早秋の丘」

望月 正晴(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「花畑の中の散歩道」

石川 金吾(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「春を描く」

鈴木 芬(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「新緑の芝生広場」

漆畠 英子(静岡市)

入選(社)静岡県造園緑化協会会长賞

「早春の河津川」

深沢 真(下田市)

審査員

富士フィルムイメージング(株)統括
建通新聞社静岡支社長 加藤 正夫

平岡 敏彦

福井 昌弘

乗松 文男

小林 召一

啓発労働委員長 西野 元

第二十七回通常総会開催

第二十七回通常総会を四月二七日、静岡市葵区のブケ東海静岡において鈴木雅近静岡県副知事、中澤通訓静岡県議会副議長、小野寺誠一国土交通省静岡国道事務所長をはじめ、国、県、市、関係団体等多数の臨席を得て盛大に開催した。

今年は協会設立四十周年の記念すべき年でもあることから、役員改選を契機に会員一同は一層の飛躍を祈念した。



挨拶に立つ乗松会長

会長の司会で進行。片桐利男副

員長が四十歳の領を持つ協会の繁栄を願うと開会の言葉を述べたあと、乗松文男会長が設立四十周年の節目を迎えたのも、皆様の支援・協力の賜物と感謝したあと、春爛漫の季節ながら、

経営環境厳しい中につつても協会は新年度に向かって公益法人としての使命を再確認し、会員の地位の向上と繁栄に向かって頑張つてこうと挨拶。議事に先立ち、協会表彰要領に基づき乗松会長が「会員の従業員」に対する表彰を行った。統一して来賓から祝辞をいたいたい後、乗松会長を議長に選出して議事に入つた。

乗松会長では来賓を代表し

て府川博明静岡県環境森林部長から祝辞をいたいたい。府川

会長は協会が設立後四十年にわたり県内各地の地域コミュニ

ティ緑化の推進や会員の技術研鑽など幅広い活動を重ね、豊かな県土の創造に大きな役割を果たして来た。今後も専門的な力を添えをいただきたいと祝辞を結んだ。

議案審議では、第一号議案の「平成十七年度事業報告書及び収支決算承認の件」について、事務局から庶務事項、事業活動に造園绿化事業経営体制強化に関する事業、その他公益請事業の活動経過が報告され、監事の監査結果報告を受けた後、異議なく原案どおり承認された。第二号議案の「平成十八年度事業計画(案)及び収支予算案承認の件」については、建設業界の厳しい経営環境の中にあって、造園業界は座して仕事を待つことなく、一層の研鑽に励み多様な



祝辞を述べる府川博明環境森林部長

緑化工事に優良な施工技術を提案し、緑豊かな県土づくりに貢献するなど真の公益法人としての責務を遂行していく方針が説明された。環境绿化技術の向上や環境绿化の推進に関する事業、造園建設業経営体制の強化に関する事業などを主要項目として各種の事業展開が提案され、これに対して異議なく原案通り承認することに決した。

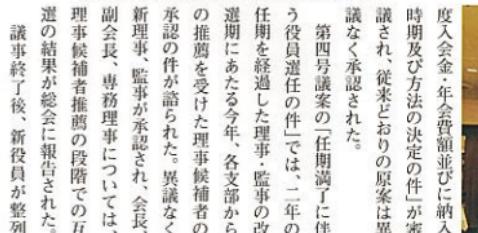
第二号議案では「平成十八年



協会会長表彰を受ける会員の従業員各氏



協会会長表彰を受ける会員の代表者



度入会金・年会費額並びに納入時間及び方法の決定の件」が審議され、従来どおりの原案は異議なく承認された。

第四号議案の「任期満了に伴う役員選任の件」では、一年の任期を経過した理事・監事の選任にあたる今年、各支部から理事候補者推薦を受けた理事候補者の互選の結果が総会に報告された。

議事終了後、新役員が整列

し、乗松文男会長は新体制での円滑な運営に会員の協力を求めた。また、九年にわたる長い間、専務理事を務められ協会の発展に寄与された川崎順二氏

に対し、会長から感謝状と記念品が贈呈され、辛苦がねぎられた。議事は速やかに進行し、渡井公平副会長の閉会のことばで総会を開会とした。

協会会長表彰

①「永く造園業に従事され功績が認められた会員

並びに会員の代表者」の部

(株)大松園

(有)丸福造園土木

(有)山本造園

(有)植信造園

(有)赤堀産業(株)

望月 滉
山本 哲也

永澤 章司
大石 進太

赤堀 辰巳

まだ間に合います 緑・花文化の知識認定試験



緑・花 試験
みどり・はなしけん

募集中

環境問題の根本的解決のためには私たちが動植物に関する知識を深め、自然の生態系を理解することが第一歩。子供から大人まで「植物の知識と植物に関する文化」を楽しく学んでみませんか。

●と き 平成十八年十一月十一日(日)

午後二時から午後三時一〇分まで
※浜松市会場も用意されています。

●と こ ろ 静岡市葵区 東海大学短期大学部校内

●申込受付期間 平成十八年七月一日(土)から平成十八年十月一日(月)

●受験資格 資格は問いません。

●受 験 料 一般(高校生以上)二、九〇円

子供(中学生以下)一、〇〇円

●ご案内・問い合わせ

〒四二二〇〇三一

静岡市葵区呉服町二二一(呉服町ビル内)

TEL ○五四二一五五〇五六六

FAX ○五四二一五一九二〇五五

こんな問題に あなたが挑戦

【問題1】

写真の植物は、街路樹や公園樹として時々見かける北米産の落葉樹です。葉の形に特徴があり、初夏にチューリップを思わせる大きな花を咲かせます。

この植物名を下記の中から一つ選び番号で答えてください。

- 1.ズカケノキ
- 2.ユリノキ
- 3.トチノキ
- 4.タイサンボク
- 5.モジマツバウ



【問題2】

写真のキノコは山の中に生えていたものです。日本では古くから栽培もされていました。私たちにもとてもなじみ深いキノコで、料理に広く使われています。

このキノコの名前を下記の中から一つ選び番号で答えてください。

- 1.シタケ
- 2.マイタケ
- 3.ナメコ
- 4.ブナシメジ
- 5.エノキタケ



正解：問題1-2、問題2-5

浜名湖フラワーフェスティバル

春の浜名湖ガーデンパークで造園緑化協会も大活躍

浜名湖フラワーフェスティバルは、平成十八年四月二十九日(金)から三〇日(日)にかけて開催され、五万八千人の来場者でにぎわった。主催は(社)静岡県造園緑化協会ほか十一団体で構成する「浜名湖フラワーフェスタ実行委員会」

テーマは「花と緑 ～暮らしの創造から生活文化の創造へ～」



屋外ステージで行われたオープニングセレモニー

●主な催事内容	
内 容	協 会 参 加
各種コンテスト	・集いのガーデン「サロン・デ・セゾン」参考モデル出展
屋内展示	・写真コンテスト入賞作品展示(かえで橋)
屋外展示	・庭づくりプレゼンテーション
ステージイベント等	・花みどりセミナー (有)飯田庭園 飯田正徳 ・緑の相談所開設 ・パンフレット・花の種配布
体験教室等	・庭づくり講演会 天野園芸(株) 望月敬彦
その他	



●「サロン・デ・セゾン」
二世帯住宅で共に楽しめる集いの「庭」



●庭づくりプレゼンテーション
来場者に実際に庭づくりの工程を披露しながら解説
(技能五輪香川大会強化選手6人3チームによる実演)



緑を育む知事とこどもたち

とともに、十四名の植栽指導員は植樹参加者が安全に植え終わるまで気配りを欠かさないプロのサポートとして大活躍。



植栽の指導にあたる技術委員

平成十八年四月一十九日(土)に静岡県中遠農林事務所が主催する「春の森づくり県民大作戦」が開催された。天竜川左岸に位置する福田漁港の背後の海岸防災林は松くい虫の被害に遭い、被害木の伐倒跡は発げ山状



広葉樹植栽を指導する西部支部会員

なった。



各所で緑のジャンパーが躍動する

技術委員会

第五回空港の森 ルネッサンス作戦で活躍

委員会だより

は、緑の空港づくりに熱い思いを込めて参加した一般参加者に対する苗木の解説と植樹方法の説明、植樹のサポートである。

西部支部

春の森づくり県民大作戦 福田漁港の海岸防災林に躍動する緑のジャンパー

支部だより

態で防潮効果が激減、防災林効果を復元するため、県は地域の方々の力を借りて広葉樹を含めた植樹を実施。当協会西部支部会員は地元の海岸防災林保全の一環を担う使命に燃え、若手



クロマツの植栽指導にあたる西部支部会員

の植樹を実施。当協会西部支部会員は地元の海岸防災林保全の一環を担う使命に燃え、若手

の力で活動。一方で、若手

の植樹を実施。当協会西部支部会員は地元の海岸防災林保全の一環を担う使命に燃え、若手

静岡県環境森林部

自然とふれあう活動の紹介

森林環境教育の拠点！
「遊木の森」



「遊木の森」での自然観察風景

森林環境教育の拠点！
「遊木の森」

森の働きを知る、森への理解を深める場所です。木登りや基地作り、山菜取り、バッタの観察もできます。随時更新している案内板がみなさんをお迎えします。



昨年の交流集会の様子(巨木に触れる体験)

森林環境教育の拠点！
「遊木の森」

平成十九年度において「緑の少年団全国大会」が本県に招致されることが決定しました。

「緑の少年団」は、次代を担う

子供達が森林での学習活動、奉仕活動等を通じて、豊かな人間

第十八回緑の少年団 全国大会開催決定

性を形成することを目的として、県下で70団体、約5千人といふ多くの団員が活動しています。

来年度の全国大会を開催して、少年団のさらなる活動推進を図るために、例年実施している「静岡県緑の少年団交流集会」

を、来年度の大会に繋がるブレ・イベントと位置付け、本年度は開催規模を大きくして実施しました。(八月九日～十一日)

本番の大会は、平成十九年七月～八月のうちの3日間で開催されます。記念式典のほか、交流活動として、自然観察やネイチャーゲーム等を行う予定となつており、現在、子供達に沢山の学びと想い出を持ち帰つてもらうために、準備を進めていきます。

多くの緑の少年団の参加をお待ちしております。

○問合せ先
静岡県自然ふれあい室
電話 ○五四・二三二一～二六八一

県民の森「きのこ観察会」

「森の力の再生」



昨年の「きのこ観察会」の様子

静岡市葵区井川にある県民の森で、例年行われている1泊2日の「きのこ観察会」を今年

も九月二十三日(土)・二十四日(日)に開催します。県民の森周辺を散策しながら、野生のきのこを採集し、講師の先生と一緒に、きのこの名前を調べたり、食べることのできるものとできないものを選別したりします。2名から6名のグループを1組として、23組を募集しています。

ぜひご参加下さい。

○問合せ先
県民の森管理棟
電話 ○五四・二六〇一～三二一四



荒廃した森林

も九月二十三日(土)・二十四日(日)に開催します。県民の森周辺を散策しながら、野生のきのこの名前を調べたり、食べることのできるものとできないものを選別したりします。2名から6名のグループを1組として、23組を募集しています。

森が増加しています。
そこで、県では平成十八年度から「森林(もり)づくり県民税」を導入し、これを財源とする「森の力再生事業」を開始します。

本事業は、公益性が高いにもかかわらず、荒廃した森林の混生林化や広葉樹林化等を図るもので、全体計画二万二千ヘクタール、事業費約84億円。事業期間は10年間です。
なお、事業主体は、森林組合等の林業事業体のほか、造園業者等を含めた様々な民間企業や地域の団体を想定しています。本事業に関心のある方は最寄りの農林事務所森林整備課にお尋ね下さい。

森林には、水源のかん養や災害の防止等の様々な「森の力」がありますが、社会や経

済状況の変化により、間伐等の手入れが不足して荒廃した森林が増加しています。

浜名湖ガーデンパーク開園1周年を迎えた

浜名湖ガーデンパークは、平成十七年六月五日の開園以来、

五月末までに、百十万人を超える来園者を迎えた多くの皆様に楽しんでいただきました。

これは、浜名湖花博の会場がどのように変わったのか関心が高かつたこと、傾斜や段差がほとんどないなどユニークなデザインに配慮していること、植栽管理や運営に多くのボランティアの協力があり、来園者に好印象を与えたことなどが主な要因であると考えております。



モネの庭

「THE 夢人島 Fes」(○○一)

が開催され、全国に浜名湖ガーデンパークの情報発信を行って

ともに、十万人以上の方々に、想い出を持ち帰つていただきたところであり、公園利用の可

能性が大きくなつたと考えて

おります。

今後も、より多くの方に御来園いたくため「成長する公園」として利用者の利便性向上に努めてまいります。

募集要項

★テーマ

「秋再発見ハンギングバスケットの作品の中に秋」という季節感や、新しいビジョンを取り入れた作品

★募集部門
①HBSマスター部門
②一般部門

★作品規定

フラワーハンギングバスケット
吊り下げの部門わけはない)
・壁掛けタイプ(縦、横各七〇センチメートル以内で二〇キログラム以下)
・吊り下げタイプ(縦、横、高さ各七〇センチメートル以内で二〇キログラム以下)

花を緑にあふれた美しい県づくりを推進するため、「花咲くしおか」を行なはばいコンクールを行います。素敵な花壇や庭を育んでいらっしゃる方は是非ご応募ください。

応募締切日は、平成十八年九月八日(金)農林事務所必着です。審査は、申込書とともに書類審査で行います。入賞された方には十一月二十七日(月)にグランプリで開催されます。

伊豆市農林漁業整備課内

伊豆市花の会事務局

電話 ○五五八九五二六〇一

伊豆・修善寺花かざりまつり ハンギングバスケットコンテスト 参加者募集!

十月二十二日(日)～十一月五日
(日)十五日間

一般部門: 三〇〇点
各部門: 最優秀賞一点・優秀賞五点(賞状と賞金、副賞)

入賞二〇点(賞状と副賞)

イ面積二〇〇平方メートル以上の部
③個人の部
ア面積二〇〇平方メートル未満の部
イ面積二〇〇平方メートル以上の部
イ 募集要項・申込用紙

★搬入・出
搬入・搬出を原則(託送可、詳
細は出品要項による)
★申し込み
専用申し込み用紙による先着順
(受付後、出品要項を送付します)
伊豆市農林漁業整備課内
伊豆市花の会事務局
電話 ○五五八九五二六〇一

花咲くしおかコンクール 参加募集中!

伊豆市農林漁業整備課内

伊豆市花の会事務局

電話 ○五五八九五二六〇一

イ 募集要項・申込用紙

<http://www.pref.shizuoka.jp/hanose/>
<http://hs-14.hanaseki/index.htm>

その他

優秀なものを第十七回全国花のまちづくりコンクール(主催: 花のまちづくりコンクール推進協議会)に推薦します。

お問い合わせ先

みかん園芸至行きスタッフ
電話 ○五四二二二二六八九

二十七日には、ササンオールスターなどによる

★募集点数
JBSスマスター部門: 一〇〇点

②職場・地域の部
学校等
ア 面積二〇〇平方メートル未満の部

大会において表彰式を行います。
①学校の部(小学校、中学校、高等
学校等)
ア 面積二〇〇平方メートル未満の部

伊豆市農林漁業整備課内

伊豆市花の会事務局

電話 ○五五八九五二六〇一

技士会だより

第二十三回全国都市緑化フェア（花彩祭おおさか二〇〇六）視察研修会に参加して



視察研修会に参加した技士会のメンバー

平成十八年五月二十六日(金)
大阪城公園が会場です。私達十二名のメンバーは静岡発ばかり九時十四分に乗車し十時五十分頃新大阪駅に着きました。当日はあいにくの曇空でしたが会場迄は雨も降らずに着きました。本部会議室にて担当の総務課長の乾様より全体の説明を

聞き会場に入りました。会場の内は望月真一君の説明を聞き約二時間位かかるが全体の会場を一周しました。生憎の雨になりましたが帰る頃には小雨になりました。会場は三つのゾーンに分けられ大阪城を中心と本丸地区、西の丸地区、二の丸地区です。まず本丸地区は歴史と花のゾーンで市民出展の花らんまん花壇は花緑の活動の中核を担うボランティアと養生しているグリーンコンソーディネーターの皆さんを中心いて内一千四百から出展された市民花壇で見えたのがあります。またリサイクル系プランターは市民の皆さんのがリサイクル資材を活用して製作した作品です。学校出展の学校緑化で

大阪市出展の公園事務所、花壇企画出展のライフスタイルガーデン等がありました。この会場は無料で大阪城見学の子供達が大勢訪れていました。西の丸地区は文化と庭園のゾーンです。入場費は五百円でした。企業団体等出展の庭園でまちなみガーデン個人で楽しむ庭、潤いのある町並形成案を提案する庭、道を歩く人を楽しませる庭など、十五庭園です。企業団体等出展のパブリックガーデンは公共施設の前庭等の緑化事例を提案する庭、三庭園、ライフスタイルガーデン、花や緑の中での暮らし方アートアリビングの実践の庭、十九庭園です。もてなしの花屋敷は政令指定都市の三都市の大花壇です。そして全国自治体の出展花壇(ふるさとの花回廊)十八自治体で構成されました。またリサイクル系プランターは市民の皆さんのがリサイクル資材を活用して製作したとの事でした。

二の丸北地区は自然の林の中と花のゾーンで市民花壇で見えたのがあります。またリサイクル資材を活用して製作したとの事でした。二の丸北地区は自然の林の中

大阪市内の各学校で行われている緑化活動の紹介のパネル展示と生徒達による花壇の出展でした。小中学校約二二〇校の出展がありました。各学校の緑化活動がこれを期に活発になってほしいと思います。

大阪市出展の公園事務所、花壇企画出展のライフスタイルガーデン等がありました。この会場は無料で大阪城見学の子供達が大勢訪れていました。西の丸地区は文化と庭園のゾーンです。入場費は五百円でした。企業団体等出展の庭園でまちなみガーデン個人で楽しむ庭、潤いのある町並形成案を提案する庭、道を歩く人を楽しませる庭など、十五庭園です。企業団体等出展のパブリックガーデンは公共施設の前庭等の緑化事例を提案する庭、三庭園、ライフスタイルガーデン、花や緑の中での暮らし方アートアリビングの実践の庭、十九庭園です。もてなしの花屋敷は政令指定都市の三都市の大花壇です。そして全国自治体の出展花壇(ふるさとの花回廊)十八自治体で構成されました。またリサイクル系プランターは市民の皆さんのがリサイクル資材を活用して製作したとの事でした。

ガーデンは六庭園、国土交通省のエコガーデンは見応えがありました。主催者展示の華の風景林は林に自然に溶けこんでいました。市民出展の活動がこれを期に活発になってほしいと思います。



樹木と花が調和したプロムナード

に庭園が入っています。府内自ら一日かかる所を二時間で廻りました。それぞれの都市緑化プロジェクトを見学しましたが、大阪城と云ふ町の花飾り等つくりみたら一日かかる所を二時間で廻りました。それでどの都市緑化プロジェクトを見学しましたが、大阪城公園全体を使つたと云うところにそのよさがあつたのではないでしようか。大阪城と云ふ大勢の人集まる所でのイベントは大変苦労されたと思います。大阪市民全體がイベントに参加されたと聞いております。大阪城以外の市街にも沢山の花壇が展出されているとの事で、大阪市民全員参加型の都市緑化フェアになった事は良かったのではないかでしようか。尚この見学会に源平太氏により大阪協会事務所との接触やパンフレット等早い時期より用意して下さいました事を心よりお礼申し上げます。

金業団体等の出展、パブリック

静岡県造園施工管理技士会会長
望月敦彦

協会日誌

平成18年

※協会主催

月日	行事又は会議	月日	行事又は会議
平成18年		5月23日	(社)日本造園建設業協会静岡県支部通常総会
1月 6日	※新年挨拶回り	5月24日	※第2回役員会
1月10日	(社)静岡県建設産業団体連合会新年賀詞交歓会	5月24日	静岡県住宅振興協議会通常総会
1月16日	※シニアワーク緑樹管理講習会(菊川会場)開講式	5月31日	(社)静岡県建設産業団体連合会通常総会・会長表彰式
1月17日	※(社)静岡県造園緑化協会新年賀詞交歓会	6月12日	※シニアワーク緑樹管理講習会(藤枝会場)開講式
1月23日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会	6月14日	(社)静岡県緑化推進協議会理事会
1月26日	自民党県連との意見交換会	6月14日	(社)静岡県緑化推進協議会総会
2月 3日	※技術委員会	6月20日	※「森の力再生事業」説明会
2月 6日	※総務企画委員会	6月21日	浜名湖フラワーフェスタ幹事会
2月 7日	※啓発労働委員会	6月22日	静岡県さくらの会通常総会
2月10日	※緑化技術講習会(花と緑の講演会)	6月26日	※シニアワーク緑樹管理講習会(静岡会場)開講式
2月15日	(社)静岡県緑化推進協議会理事会	6月27日	建設業労働災害防止協議会静岡県支部現場安全研修会
2月15日	(社)静岡県緑化推進協議会総会	6月28日	会報編集会議
2月28日	※正副会長会議	6月30日	静岡県造園施工管理技士会総会
3月 7日	建設業労働災害防止協議会静岡県支部常任幹事・団体長合同会議	7月3日	※正副会長会議
3月 8日	※総務企画委員会	7月4日	巨樹と森林文化の会総会
3月10日	静岡県建設産業人材対策協議会と雇用改善推進委員会合同会議	7月13日	静岡県林業技術センター振興協議会幹事会
3月13日	浜名湖フラワーフェスタ幹事会	7月19日	※会報編集会議
3月16日	※第6回役員会	7月20日	※技術委員会
3月28日	静岡県住まいの文化賞表彰式	7月21日	※正副会長・支部長会議
4月 6日	※ふれあい写真コンテスト審査会	7月24日～8月7日	※育成管理巡回指導調査
4月 7日	※平成17年度監査会	7月25日	静岡県自然ふれあい室検査
4月10日	※総務企画委員会	7月26日	※啓発労働委員会
4月10日	※第1回役員会	7月26日	浜名湖フラワーフェスタ実行委員会
4月10日	浜名湖フラワーフェスタ第1回実行委員会	7月27日	雇用管理研修会
4月26日	建設業労働災害防止協議会静岡県支部代議員会	7月29日	「森と湖に親しむつどい2006 奥大井接岨湖フェスティバル」記念式典
4月28日	浜名湖フラワーフェスタオープン式典	8月 3日	建設業労働災害防止協議会静岡県支部主任・団体安全指導者会議
4月29日	春の森づくり県民大作戦	8月 9日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会
5月12日	(社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会	8月10日	※「道の日」キャンペーン(中部)
5月16日	建設業労働災害防止協議会静岡県支部主任・団体安全指導者会議	8月10日	※「道の日」キャンペーン(西部)
5月17日	※啓発労働委員会	8月18・23日	※「道の日」キャンペーン(東部)
5月17日	※総務企画委員会	8月11日	(社)静岡県建設産業団体連合会事務局長会議
5月18日	※技術委員会	8月21日	※シニアワーク緑樹管理講習会(掛川会場)開講式

机上に1冊どうぞ

好評の「新街の樹200選」
リニューアル発刊!!

定価2500円(税込)

申し込み先

静岡市葵区葵服町二の二(葵服町ビル)
(社)静岡県造園緑化協会
TEL 054-251-9205



A5全ページ鮮明なフルカラー265頁
★樹木の特性
★適地適木
★適切な樹木管理

新図書の御案内

会員登録
申込書

西村造園(株)
(株)伊豆急ハイキング
(株)東海フォレスト

(変更後)
西村治子
西村春樹
河原義彦

西村造園(株)
(株)武井造園
(株)武井基次様の奥様
(平成十八年六月十三日ご逝去)

(変更前)
吉田誠
内海登

西村義夫

「公園管理運営士」養成講座開催

公緑協 マネジメント能力を養う機会提供



11月 認定試験に対応

公園管理運営士という書字がやがて多くの目に多く目に留められた。静岡県内外。先日も本屋を見ていたら、管理運営力についての「マニアック」の買付で、その書籍が並んでいた。静岡県内でも、公園管理運営士の資格は民間企業で認定される。委ねる手法に転換する自治体が多い。いわゆる指定管理者制度である。公園管理運営士の資格は民間企業で認定される。ではないが、今後は指定管理者や公園管理業務の受託など公園管理を担当するものにとっては総合管理能力を備える必要があるとされている。すべての会員が指定管理者として指定を受けられる状況にないものもある。私たちは樹木・草木の維持管理「専門士」として、日々下請業者であつても、自らも専門知識で問題を解決する力を持った人材を育成する立場に居る。ということを忘れてはならないと思ふ。樹木園芸に関する改善、工夫などを指定管理者に対し積極的に提案していく勇気も必要であろう。そのためには、公園を統合して運営するノウハウも勉強し、公園管理の考え方を理解していく必要があるのではないかと思う。

話題の森

民間事業者が管理運営を行なう東京・品川の「市民ボランティア」と、もう一方の「市民ボランティア」も、行政・民間の協働も、管理運営も欠かせないポイントだ。

道筋上は既定戦略に文脈を受けて対策として格好の機会となっている。今後の指定管理者や公園管理業務の受託など、都市公園の管理担当者は、単なる管理作業能力ではなく、マネジメント能力を備えていることが不可欠である。

また、来園者が位のサービスの認められており、公園管理から、よき知識とフウハウが生まれる。

シメント力や柔軟な組織力など、今後も活用してもらいたい」といふ成績説明が開催後で述べた。

講座は、新しい時代に「社会的・経済的・技術的」に対応して設けられた認定試験制度の背景と考え方、試験制度の問題とそれに対する考え方、実務者サポートに対する運営管理、これまでの運営実績などを理解するための講義と、実務者との意見交換による管理との差異などについて、一公團の担当者が講義を行った。

田中隆巳(日本公團緑地研究会長)、「都市公園管理」中島宏元(緑地部長)、「都市公園運営管理」山本正一(本公園施設監修事務長)がそれぞれ沿って実施する予定である。

講演会
講師：吉田義典
日時：午後5時から午後5時半
料金：1万4千円
定員：80名
申込締切：7月21日
問い合わせ先：福岡県地場公企連
TEL：092-231-0000

06年8月1日 環境緑化新聞



◆観賞花(八~十月)
◆用途 公園樹・庭園樹・花木
◆植域 本州(中部以南・四国・九州)
◆繁殖 変種にスイフヨウ・ヤエザキフヨウがある
◆その他



- 落葉低木—1~3m●陽樹
- 成長早い●水辺の肥沃地が適
- 萌芽力強く刈込みに耐える
- 移植難●大気汚染 潮風に強い

新街の樹二〇〇選

■ フヨウ(アオイ科)

夏から初秋にかけて咲く花は一日でしほんでしまうが、次から次へと咲きつづけ楽しませてくれる朝は白、夕方にはインク色になり